

付録1 アンケート票

循環型社会形成推進交付金制度 ご担当者の皆様へ

循環型社会形成推進交付金制度の実施状況についてのご教示のお願い

先日は突然の電話を失礼いたしました。

私は滋賀県立大学環境科学部4回生 井上拓馬と申します。現在、

「循環型社会形成推進交付金制度の実施状況とその評価」

というテーマを設定し卒業研究に取り組んでおります。その中で、交付金制度を利用して施設整備を行われた市町村・行政組合を対象に、市町村の立場から見た交付金制度の手続き等の評価について調査させて頂くことになりました。ご多忙中のところ大変恐縮ではございますが、アンケート調査にご協力頂ければ大変ありがたく存じます。

ご教示可能な範囲で結構ですので、この用紙にご回答頂き、9月30日までに同封の返信用封筒で井上までご返信頂ければ幸いです。なお、ご回答頂きました内容は、統計的に処理いたしますので、皆様にご迷惑をおかけすることは決してございません。また、ご教示頂きました情報は、厳重に管理し、用済み後は確実に処分いたしますのでご安心ください。

平成20年9月1日

滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科

金谷研究室 4回 井上拓馬（調査担当者）

〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500

研究室 TEL：0749-28-8279

FAX：0749-28-8349

E-Mail：zil3tinoue@ec.usp.ac.jp

1 地域計画案の作成プロセスについて

質問1 地域計画案を作成する際にコンサル業者に委託されることはありましたか。

1. ある
2. ない

質問2 質問1で「1. ある」と答えられた方にお聞きします。計画のどの部分について委託されたのですか。(複数回答可)

1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項
2. 循環型社会形成推進のための現状と目標
3. 施策の内容
4. 計画のフォローアップと事後評価
5. 添付書類
6. その他 ()

質問3 地域協議会を開催するまでに、担当部署以外の職員、他の団体、学識経験者等(環境省・都道府県の関係者を除く)との計画に関する意見交換は行われましたか。

1. 行った
2. 行っていない

質問4 地域計画案を作成する際に苦勞された点は何ですか。(複数回答可)

1. ゴミの有料化の検討
2. 廃棄物処理量の現状把握又は将来予測
3. 人口推計
4. 計画作成時にはまだマニュアルがなかった
5. 事業費の見込み
6. 市町村合併に伴う人口や廃棄物処理量の変化
7. その他 ()

質問5 地域計画案を作成する際にもっとも苦勞された点は何ですか。

1. ゴミの有料化の検討
2. 廃棄物処理量の現状把握又は将来予測
3. 人口推計
4. 計画作成時にはまだマニュアルがなかった
5. 事業費の見込み
6. 市町村合併に伴う人口や廃棄物処理量の変化
7. その他 ()

質問6 地域計画案の作成を開始した時期、1回目の地域協議会を開催した時期、環境省に完成した地域計画を提出した時期をそれぞれ教えてください。

地域計画案の作成開始の時期：[年 月]

1回目の地域協議会開催時期：[年 月]

完成した地域計画の提出時期：[年 月]

2 地域協議会について

質問1 協議会の構成メンバーを教えてください。

市町村職員・事務組合員：[名]

都道府県関係者：[名]

環境省関係者：[名]

住民代表者等：[名]

学識経験者・専門家：[名]

その他：[名]

質問2 協議会の開催回数を教えてください。

[0回 1回 2回 3回以上]

質問3 質問2で「0回」「2回」または「3回以上」と答えられた方にお聞きします。そのようになった理由を教えてください。

()

質問4 協議会の意見交換の中で、計画修正の必要が生じるような意見や指摘がありましたか。ある場合、それはどの立場の方のどのような意見でしたか。

(立場：
意見：)

(立場：
意見：)

(立場：
意見：)

質問5 協議会が開催される前、または協議会の後地域計画を提出するまでの間で、地域計画の内容について環境省・都道府県から指摘は受けられましたか。

1. 受けた
2. 受けていない

質問6 質問5で「1. 受けた」と答えられた方にお聞きします。それはどの部分についての指摘でしたか。またどのような内容の指摘でしたか。

1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項
2. 循環型社会形成推進のための現状と目標
3. 施策の内容
4. 計画のフォローアップと事後評価
5. 添付書類
6. その他 ()

指摘の内容

()

3 交付申請について

質問1 年度ごとに内示される金額（追加内示も含む）は希望通り（直前の環境省の所要額調査等にて報告したものと同一）でしたか。

- H17・・・[1. 希望通り 2. 一部希望通り 3. 希望通りでない
4. この年度の内示はない]

- H18・・・[1. 希望通り 2. 一部希望通り 3. 希望通りでない
4. この年度の内示はない]

- H19・・・[1. 希望通り 2. 一部希望通り 3. 希望通りでない
4. この年度の内示はない]

質問2 交付申請書に記入される申請額は、環境省の内示で示される金額と同じでしたか。異なった場合はその金額の割合と異なった理由を教えてください。

- H17・・・[1. 同じ 2. 異なった]

交付申請書に記入した申請額は、

内示額の約[]%

理由

()

H18・・・[1. 同じ 2. 異なった]
 交付申請書に記入した申請額は、
 内示額の約[]%
 理由
 ()

H19・・・[1. 同じ 2. 異なった]
 交付申請書に記入した申請額は、
 内示額の約[]%
 理由
 ()

質問3 交付申請書の作成において特に苦勞された点がありますか。
 ある場合はその内容を教えてください。

()

4 交付金の運用について

質問1 年度ごとに環境省から交付された総交付金額とそのうちのいくらが使用されたかを教えてください。

	H17年度	H18年度	H19年度
交付金利用額* (千万円)			
翌年度からの前倒しの金額 (千万円)			
翌年度への繰越の金額 (千万円)			
総交付金額 (千万円)			

質問2 質問1で「翌年度からの前倒しの金額」または「翌年度への繰越の金額」の行に数字を記入された方にお聞きします。

どのような理由で翌年度からの前倒し（翌年度繰越）を行われたのかを教えてください。

()

質問3 質問1で「翌年度からの前倒しの金額」または「翌年度への繰越の金額」の行に数字を記入された方にお聞きします。交付金の年度間流用を行う際に何か問題点はありましたか。ある場合はその内容を教えてください。

()

質問4 交付金の事業間流用は行われたことがありますか。

1. はい 2. いいえ

質問5 質問4で「1. はい」と答えられた方にお聞きします。

どの事業からどの事業への流用がありましたか。

事業名 () → () 事業名

事業名 () → () 事業名

質問6 質問4で「1. はい」と答えられた方にお聞きします。

交付金の事業間流用を行う際に何か問題点はありましたか。

あればその内容を教えてください。

()

5 事業実施及び事後評価について

質問1 交付金事業の実施に伴う委託事業者・市町村・都道府県間の連絡・指導等についてですが、事業者が交付金の交付対象の詳細を十分に把握できていないといった類の問題はありませんでしたか。

1. 問題あり
2. 問題なし
3. 連絡・指導等の必要がなかった

質問2 質問1で「1. 問題あり」と答えられた方にお聞きします。その問題の具体的な内容をご教示ください。

()

質問3 事業実績報告書についてですが、記入された内容は交付申請書を提出されたときの予定通りでしたか。

1. 予定通り
2. 概ね予定通り（僅かな金額の差異のみ）
3. 予定通りではない
4. 今までに事業実績報告書は提出していない

質問4 質問3で「2. 概ね予定通り」または「3. 予定通りではない」と答えられた方にお聞きします。

特に予定通りでなかった点は何ですか。

1. 想定していた総事業費および交付金所要額
2. 事業の進捗
3. 事業費財源の精算
4. その他 ()

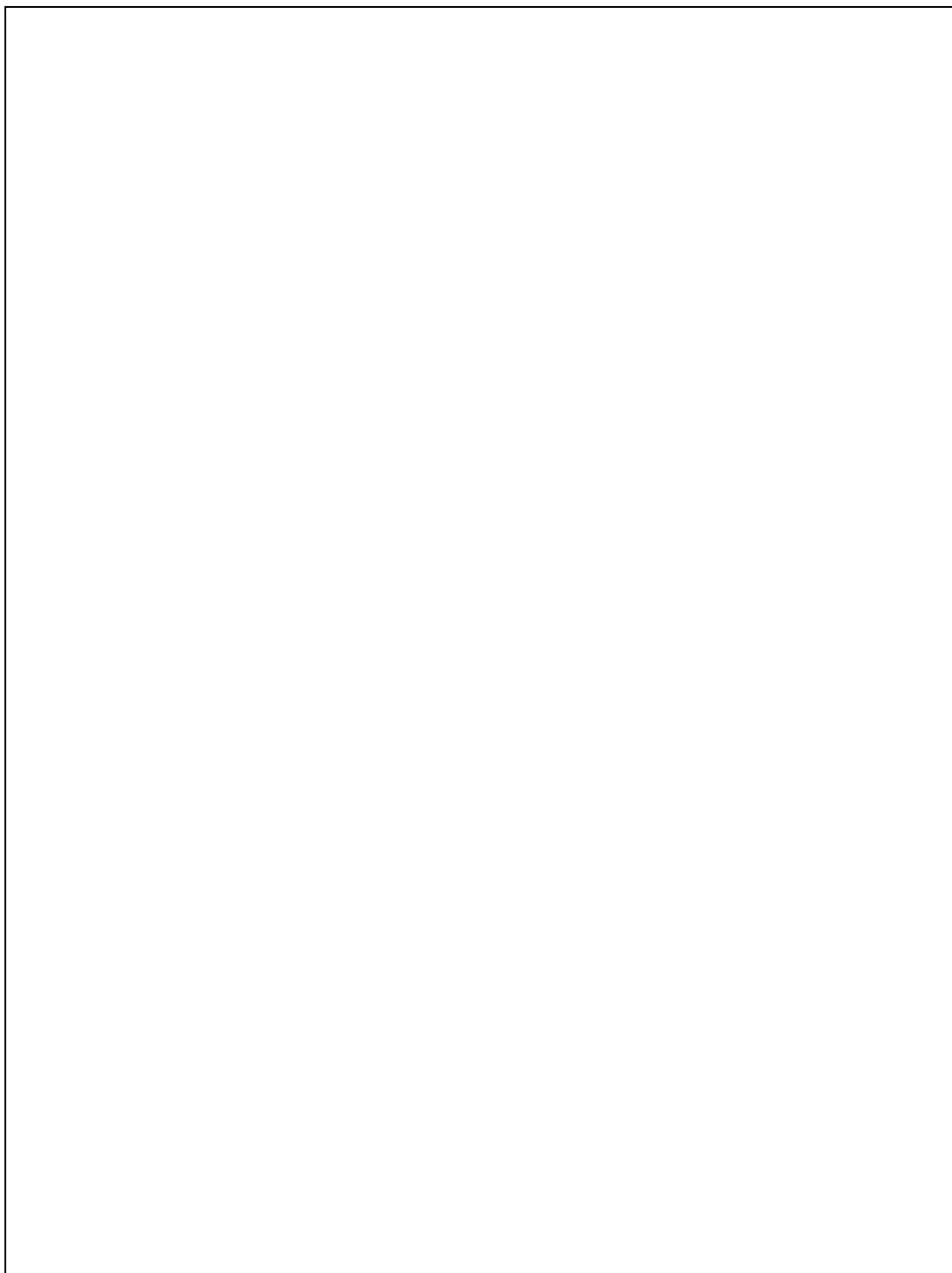
また、予定と異なる結果になった場合どのように対処されましたか。

()

質問5 事後評価（実績報告書作成・提出）の際に何か問題点はありましたか。あればその内容を教えてください。

()

6 その他、交付金制度全体についての意見や問題点があれば教えてください。



アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

平成20年11月 日

循環型社会形成推進交付金制度の実施状況についての
アンケートの回答内容に対する追加質問のお願い

滋賀県立大学環境科学部4回生の井上拓馬です。

9月にお送りいたしました循環型社会形成推進交付金制度に関するアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。お忙しいところ幾度もお手数をおかけし大変申し訳ありませんが、ご教示いただきましたご回答内容につきましての追加質問と、私のミスで質問に不備のありました点につきまして再度ご教示いただければと思います。

誠に勝手ながら平成20年11月28日までに FAX または Mail にてご返信いただければ幸いです。よろしくお願いたします。

滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科
金谷研究室 4回 井上拓馬（調査担当者）
〒522-8533 滋賀県彦根市八坂町2500
研究室 TEL：0749-28-8279
FAX：0749-28-8349
E-Mail：zil3tinoue@ec.usp.ac.jp

ご教示して頂くにあたって

- ・後に続く質問項目は市町村ごとに異なる内容になっております。不要な質問項目は除いておりますので、全ての質問にご回答下さい。
- ・ご回答は選択肢のあるものについては、当てはまる選択肢を1つだけお選び下さい。
- ・「その他」の選択肢を選ばれる場合は、具体的な内容についてご教示ください。

追加調査質問項目

1 地域計画案の作成プロセスについて

- 前回アンケート質問3 「地域協議会を開催するまでに、担当部署以外の職員、他の団体、学識経験者等（環境省・都道府県の関係者を除く）との計画に関する意見交換は行われましたか。」に対して「1. 行った」と答えられた方にお聞きします。

その意見交換の場での主な議題、目的は何でしたか。

- 前回アンケート質問4 「地域計画案を作成する際に苦労された点は何ですか。」に対して「2. 廃棄物処理量の現状把握又は将来予測」を選択された方にお聞きします。

具体的にはどのように苦労されましたか。

1. 現状把握・将来予測の方法がよくわからない
2. 現状把握・将来予測の作業量が多い
3. 「1」と「2」の両方
4. その他

具体的には

2 地域協議会について

- 前回アンケート質問1 「協議会の構成メンバーを教えてください。」に対して「住民代表者等」がメンバーに含まれていると答えられた方にお聞きします。

協議会に参加された「住民代表者等」の方のもう少し具体的な肩書を教えてください。また、その方はどのような経緯でメンバーに含まれることになったのですか。

住民代表者の方の肩書:

メンバーに含まれることになった経緯:

- 前回アンケート質問2「協議会の開催回数を教えてください。」に対して2回と答えられた方にお聞きします。

1 回目の協議会で決着のつかなかった問題、議題は何ですか。

--

- 地域協議会の議事録はHP等で公開されていますか。

1. している
2. していない

「1. している」と答えられた方にお聞きします。どのような方法で公開されていますか。

1. HPでの公開
2. その他

具体的には

--

「2. していない」と答えられた方にお聞きします。HP等での公開以外で一部に対しての開示等はされますか。

1. 情報公開の請求があれば開示する
2. 開示はしない
3. その他

具体的には

--

- 地域協議会の開催は必要不可欠だと思いますか。

1. 必要である
2. 不要である
3. どちらともいえない

3 交付申請について

- 前回アンケート質問2「交付申請書に記入される申請額は、環境省の内示で示される金額と同じでしたか。異なった場合はその金額の割合と異なった理由を教えてください。」に対して、「環境省の過大内示、追加内示のために申請額が異なった」と答えられた方にお聞きします。

具体的にはどういうことなのでしょうか。過大内示、追加内示の際には環境省から何か説明はありましたか。

- 前回アンケート質問2「交付申請書に記入される申請額は、環境省の内示で示される金額と同じでしたか。異なった場合はその金額の割合と異なった理由を教えてください。」に対して、いずれかの年度で「1. 同じ」と答えられた方にお聞きします。

入札による事業費の減額のため申請額と内示額が異なったという回答が多く見られたのですが、申請額と内示額が同じということは、交付申請の後に事業者との工事契約等をされたということでしょうか。

1. 交付申請後に工事契約を行ったので申請額と内示額は同じになった
2. 交付申請前に工事契約を行ったが内示額と同額での契約であるため、申請額と内示額は同じになった
3. その年度には施設整備とそれに伴う入札による工事契約がなかったので申請額と内示額が同じになった。
4. その他

具体的には

上の質問に対して「1. 交付申請後に工事契約を行ったので申請額と内示額は同じになった」と答えられた方にお聞きします。交付申請後の工事契約の際に入札による事業費の減額があった場合、その差額はどのような用途で利用されていますか。

1. 年度間流用・事業間流用により調整
2. その他

具体的には

--

4 交付金の運用について

●前回アンケート質問1で「年度ごとに環境省から交付された総交付金額とそのうちのいくらが使用されたかを教えてください」という質問に対して下記の表に数値を記入して頂きましたが、こちらの説明不足のため各語の意図するところや記入方法を皆様に十分伝えることができず、全ての回答者様から満足な回答を得ることができませんでした。そこで一部の回答者様に改めて下記の表について説明させて頂き、回答の確認及び訂正、再記入をお願いしたいと思います。回答者の皆様に多大なご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。もしよろしければ再度ご回答頂きたいと思っております。

- ・「総交付金額」の欄には、その年度に利用可能であった交付金の金額をご記入ください。ここには、その年度に国から交付された金額に加えて、前年度からの繰越の金額及び翌年度からの前倒しの金額を含めます。
- ・「総交付金額」のうちから、その年度で交付金事業費として使用された金額を「交付金利用額」の欄へ、その年度では使用せず翌年度へと繰越された金額を「翌年度への繰越の金額」の欄へ、それぞれご記入ください。
- ・金額は千万円単位でご記入頂くか、他の単位であればそれを書き添えて頂きますようお願いいたします。
- ・この表に当てはまらない用途の金額等がありましたら枠外にご記入ください。

前回のアンケートで記入された内容

	H 1 7 年度	H 1 8 年度	H 1 9 年度
交付金利用額 (千万円)			
翌年度からの前倒しの金額 (千万円)			
翌年度への繰越の金額 (千万円)			
総交付金額 (千万円)			

今回の回答

	H 1 7 年度	H 1 8 年度	H 1 9 年度
交付金利用額 (千万円)			
翌年度からの前倒しの金額 (千万円)			
翌年度への繰越の金額 (千万円)			
総交付金額 (千万円)			

- 前回アンケート質問2「どのような理由で翌年度からの前倒し（翌年度繰越）を行われたのかを教えてください。」に対して、「環境省の指示による」「国からの要請」と答えられた方にお聞きします。

具体的には環境省からどのような指示がありましたか。

- 前回アンケート質問3、6「年度間流用、事業間流用を実施する際に何か問題がありますか。」に対して「予算・決算との整合性をとることに多少苦慮する」という意見がありました。が、予算・決算の整合性をとること（予算・決算に関連する数字合わせ）で苦勞されたことはありますか。

1. ある
2. ない
3. 年度間流用・事業間流用は実施していない

また、「流用額の調整を翌年度のみで行われなければいけないことが問題である」「年度間・事業間流用に対して幅をもたせてほしい」という意見もありましたが、年度間流用・事業間流用に対してどのような点が改善されればより利用しやすくなると思われますか。

1. 今のままで十分であり特に改善の必要はない
2. それらを利用していないのでよくわからない
3. 改善されればよいと思う点がある

具体的には

6 その他、交付金制度全体についての意見や問題点

●以前の補助金制度と比して事務の簡素化がされていてよいという意見が多いと思いますが、特にどの時期にそのように感じられますか。

1. 地域計画を策定している段階
2. 地域計画を策定してから交付申請を行うまでの段階
3. 交付申請を行ってから年度ごとの事業実績報告書を作成するまでの段階
4. 全体的に楽
5. 特に事務が簡素化されているとは思わない
5. その他

具体的には

●交付要綱・取扱要領が詳細でなく、不明瞭な点が多いという意見がありましたが、交付要綱・取扱要領に対する印象を教えてください。

1. 満足できる内容である
2. 不満な点がある
3. どちらともいえない

「2. 不満な点がある」を選択された方にお聞きします。不満な点を具体的に教えてください。

●廃棄物処理施設と浄化槽設置事業など事業の性格が異なるものについては、まとめて一括で交付申請するのではなく、別々に交付申請できたほうがよいというがあがっていますが、これについてはどのように思われますか。

1. その通りだと思う
2. そうは思わない
3. どちらともいえない
4. その他